

女性は男性に比べて犯罪にあいやすく、ひったくりの約**90%**、すりの約**60%**は女性が被害者となっています。そのほか、路上強盗、暴行、傷害、脅迫及び詐欺における女性の被害割合が増加傾向を示していて、女性の被害割合が、過去5年間で最多となっています。自分の身を自分自身で守るためのグッズを紹介します。

タクティカルペンライト

普段から使用できるので非常に携帯しやすい護身用具です。

用途

手で握って相手の急所などを狙ってつきます

一般的LEDのライトに比べて2・3倍の明るさを持つライトです

相手の顔に向けて照らすことで目をくらませ逃げる隙を作ることができます。

値段

¥500～10,000



防犯ブザー

用途

身の危険を知らせるブザー

大きな音を鳴らして、周りの人に危険を知らせることができ、一番実用的です。

注意①防犯ブザーはいざというとき、即座に手が届き使用できる位置にあることが重要です。また、定期点検も必要です。

注意②音が止まらないように継続的に鳴らすことが大切です。

防犯ブザーを鳴らしたときはすぐに不審者とは別の方向に防犯ブザーを投げましょう。

値段

¥100～5,000



催涙スプレー

用途

自分に近づこうとする相手の顔にすぐ吹きかけることができるアイテムです。

但し、所持に関しては様々な注意が必要です。

値段

¥1,000～3,000



女性を狙った犯罪を防ぐためには防犯用具を常備し持ち歩くことが大切です。

防犯対策も大切ですが、人通りや街灯の少ない道に行かないことが一番の防犯対策です。

どんな時も頭の片隅に防犯意識を持っておくことが一番重要です。

